



## 昭和中央小学校学校通信

平成26年12月4日発行

「笑顔いっぱいの学校」を目指します。



### 焼山をやさしい町に ～盲導犬との学習～

日本盲導犬協会の協力により、3年生の総合的な学習の時間に島根あさひ訓練センターから盲導犬を招いて学習をしました。

盲導犬についての基礎的な知識を学んだり、盲導犬の訓練を見たり、アイマスクを付けて盲導犬と歩く体験をしたりしました。実際に体験したことにより、子ども達は盲導犬や視覚障害についての理解を深めることができたようです。



#### 【児童の作文から】

- ～略～ 次は、もうどう犬といっしょに歩く体けんでした。目の不自由な人は、もうどう犬と歩いていても、わたしはやっぱり不安なんだと思います。わけは、明るさだけ分かる人でも、まっくらな人でも、見えにくい人でも、毎日ドキドキすると思ったからです。～略～
- ～略～ わたしは、これからの生活の中で、もうどう犬に出あうかもしれません。さわりたくなっても、くんれんしさんから教えてもらった3つの約束をまもっていきたいです。もっともっともうどう犬のことを知り、たくさんのもうどう犬のことを覚えていきたいです。これから、生活の中で今日の勉強を生かして、もうどう犬を使っている人のめいわくにならないように、そしてもうどう犬や他のはたらく犬を調べたり、家族に聞いてみたりしたいです。今日は、本当に楽しくて、覚えやすい勉強をしてもらってうれしかったです。

この学習を通して、視覚障害だけでなく、障害のある人に対する接し方について学習することができ、自分達が住む焼山を「やさしい町にしていこう」と決意を新たにすることができました。

